



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2539回例会
2018.07.10(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真：堂ヶ島の天窓洞（伊豆半島ジオパーク）

2018-19

RI 会長 バリー・ラシン ガバナー 星野喜忠
会長 古藤田博澄 幹事 水谷隆一
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 それでこそロータリー

会長挨拶

会長 古藤田博澄



先週の理事会で、今年度の財団プロジェクトが承認されました。今年度は『伊豆総ミュージアム開設』です。今回の企画は、伊豆総合高校側からの要望をくみ取り、修善寺駅により近くて、常設が可能で、尚且つ協働

できるパートナー探しから始まりました。幸い、駅南口隣に『いずべロ』という名称でレンタル自転車事業を市からの委託を受けて運営している『NPO ステキなごえん』の後藤代表と懇意でしたので、その施設内の壁面をお借りすること、必要に応じて生徒たちが集まり地域の人向けにワークショップ等を実施することの了解を得ることが出来ました。いずべロ側も今後、伊豆総合高校とコラボして、自転車のまち・伊豆市キャッチフレーズである『自転車と伊豆 今、走り出す』の推進をしていきたいというところで、市の観光商工課も含めた産官学の連携事業が成立した次第です。

このミュージアムは、伊豆総合高校の生徒会内に、インターアクトクラブの係をあらためて設け、その生徒達とクラブ担当の名倉先生が企画運営にあたり、書道部・美術部・写真部といった文化部の作品を中心に発表の場をつくり、そして生徒達と地域との交流の拠点づくりにチャレンジしていくというものです。

オープン記念式典は8月27日月曜日の10時より伊豆べろにて行いますのでよろしくお願いします。

さて、本日は各委員会からの今期計画発表です。よろしくお願いします。

慶事発表

(なし)

幹事報告

幹事 水谷隆一

- ・計画書訂正：P17 奉仕プロジェクト委員長を小野信→山口和拡に訂正
- ・西日本豪雨への募金をお願いします。
- ・次週は休会次々週はガバナー補佐公式訪問です。

[例会変更情報]

- ・三島 RC：7/25(水) 呉竹 時間変更 18:30~
- ・三島西 RC：7/19(木) 休会

出席報告

委員長 土屋雄三

	出席総数	出席率	メークアップ*	修正出席率
前々回	17/21名	80.95%	19/21名	90.48%
今回	17/21名	80.95%	会員総数	23名

- ・今回の欠席者：紀平幸一・森田修史・小島昭男
土屋雄三
- ・前々回の MU 者：雨宮演邦 (6/27 三島 RC)
木内昭夫 (6/27 長泉 RC)

スマイル報告

親睦友好委員長 原田精治

	本日のスマイル	1,000円
	スマイルの累計	16,000円

□山口和拡

おかげさまで無事あやめ祭終わりました。ありがとうございました。

□管理運営委員会

委員長：雨宮演邦

・クラブ管理運営にあたり、まずお互い理解し合い信頼、親睦を深め、信の友人と呼べる仲間作りに寄与して行きたいと思ひます。お互い尊敬し合磨き抜かれた最高の信の共につながること基本に進めて行きます。

・古藤田会長の進める「会員になりたい、会員であり続けたい」を実現できる運営をしていきたい。

・会員増強はもとより各委員会の調和、充実を図って行きたい。各委員会の目標達成に向け、協力し合って全体を進めて行きたいと思ひます。

□親睦友好委員会

委員長：原田精治

・会員間の親睦を深めるための事業

・例会時における受付業務や例会場への案内等

・友好クラブ 京都乙訓 RC 相模原西 RC との交流事業の企画、実施

□会報委員会

委員長：土田 哲

毎例会を正確に記録した会報を作成し、会員への情報提供を行い、会員相互の親睦に寄与するように活動いたします。

・例会の記録、報告等を正確に掲載する。(正確な記録)

・ロータリーの知識、情報を豊かにする記事の掲載に努める。(情報発信)

・内容の正確性の担保、省力化の観点から例会での発言者に電子データでの原稿提出をしていただくよう努める。

(正確性、省力化、情報化対応)

・見やすさ、読みやすさを考慮した会報の作成に努める。

(魅力的、出席率向上)

・会員の皆様には、卓話担当者にかぎらず、魅力ある投稿をしていただき、クラブ全体で、より良い会報作成へのご協力をお願いいたします。(協力、親睦)

□会場監督(SAA)

委員長：小野 信

会場監督としての職務を理解して、例会が楽しく秩序正しく運営されるように努めます。

親睦友好委員会との連携を深め、会の進行をスムーズに行えるよう努めます。

会員の理解と友好が深まるような席替えを工夫します。

□会員増強委員会

副委員長：飯田健吾

紀平委員長に代わり副委員長飯田が発表致します。

計画書記載の項目を熟読されご理解をお願い致します。

ロータリークラブの活動維持、活性化に会員の補充・増員は必須事項であり増強は本年もクラブの重点事項の一角である。

1. クラブ会員の増強

2. 退会防止の二点について取り組みます。

□公共イメージ向上委員会

委員長：長友範充

公共イメージ向上委員会の役割は、クラブとロータリーに対する地域社会の認識とイメージの向上を図ることと認識しております。

現在当クラブの主な広報手段は、新聞、ホームページ、フェイスブックですが、そのときに応じて他の方法により、当クラブの活動や情報を広く地域に提供し、伊豆中央RCの認知度、またイメージを高めたいと思ひます。

□奉仕プロジェクト委員会

委員長：山口和拓

ロータリークラブは、地域社会に貢献する為に組織された団体です。私たちは、そのメンバーの一員である事に誇りを持ち、日々の生活に生かして行く喜びを分かち合いたいと思ひます。伊豆中央ロータリーに参加している私たちは、奉仕の心を持つ人の集まりです。113年前親睦と友情の大切さに仲間同士が集まりました。程なく奉仕の考えが芽生え、組織も成長して行きました。今は、地球上のあらゆる国の人たちが手を取り合い、自分を越えた素晴らしいことを生み出せる団体となりました。今年度のRI会長バリー・ラシン氏は、「BE THE INSPIRATION」と提案されました。その基本方針の中でも、今日直面する課題に「勇気・希望・創造性」で正面から立ち向かうよう訴えています。ロータリー創始者のポールハリスは「ロータリーは世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」と述べました。世界120万会員の一人としてロータリークラブ活動に参加する事から、一人一人の自己表現に結びつくと思ひます。但し、各クラブは独立したクラブであり、地域独特の活動があると思ひます。この一年、奉仕の理念について勉強し、並行して、地域で行動する事で、少しでも共鳴してくれる人を増やし、地域社会から支持を得る事が出来ると思ひます。

古藤田博澄会長の思いに寄り添いながら、ロータリー財団と共に奉仕活動に力を注ぎ、行動したいと思ひます。ご協力をお願いします。

□インターアクト委員会

委員長：竹村淳一郎

委員長 竹村、原田副委員長、小林委員、3名で1年間活動いたしますのでよろしくをお願いします。

内容は計画書通りです、また古藤田会長の事業計画に沿って奉仕プロジェクト委員会の一委員会として役目を果たしていきたいと思ひます。

□米山委員会

委員長：飯田健吾

昨年度は、伊豆中央RC実施開催のIMにて「米山梅吉翁・米山記念館・米山学友会」等をテーマに、梅吉翁の足跡とその考え方を学び直し、米山記念館の存在意義を再認識する機会を得ました。

会員の皆様が、身近にある記念館に通われる機会を増やして頂くことをお勧めします。

□ロータリー財団委員会

委員長：石井政一

ロータリー財団委員会では、財団の取り組みを理解し、財団への寄付と補助金の積極的な活用を推進・支援する。

・本年度財団補助金プログラムを企画・申請・報告し、奉仕プロジェクト委員会他と協力し実施する。

・本年度重点目標の世界ポリオデープロジェクトに協力・実施する。

□クラブ研修リーダー

土屋龍太郎

継続的な勉強が、ロータリアンの矜持。

「4つのテスト」、「ロータリーの目的」、「中核的価値観」等に対する理解を深めるための研修活動をできるだけわかりやすくを念頭に実施します。

更に、RIと財団の方向性を定めて戦略計画と、その実現に向けた3つの目標を理解し共有したいと思ひます。

今般、ロータリー情報をいくつかのジャンルに分けて整理しました。

それを、共有する方法を模索しています。ご意見をお寄せください。